

表 4.5 Y法結果一覧表
 (励磁系モデル：LAT=1,負荷特性：定電流特性[NLT=2])

事故様相	昼間断面	夜間断面
A点での1回線3LG-O	2波脱調 (4.3s) [G 2 他] 3.4s	2波脱調 (4.9s) [G 2 他] 3.1s
B点 "	安定 3.0s	安定 2.6s
C点 "	" 3.0s	" 2.8s
D点 "	" 3.0s	" 2.6s
E点 "	" 3.0s	" 2.5s
F点 "	" 3.0s	" 2.4s
G点 "	" 2.9s	" 2.5s
H点 "	" 3.2s	" 2.5s
I点 "	" 2.8s	" 2.2s
J点 "	" 3.3s	" 2.4s
K点 "	" 3.0s	" 2.5s
L点 "	3波脱調 (7.0s) [G 1 他] 3.1s	" 2.3s
G 8 脱落	発散傾向 4.4s	" 2.6s

(注1) 3LG-O事故は、全て事故継続時間 70 ms。

(注2) : Y法波形を示したケース

: 負荷特性の違いによる比較波形を示したケース

[]: 脱調発電機* (群)

(): 最初の発電機が脱調するまでのおおよその時間

: Y法の発電機内部位相角の動揺波形より求めた概略の動揺周期。

*ここでの脱調発電機とは、便宜上、位相角基準発電機(G10)からの位相角の絶対値が360度を超過した発電機を指すものとする。